

### 1.調査目的等

・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
 ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。  
 ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

### 2.学校ごとの指標

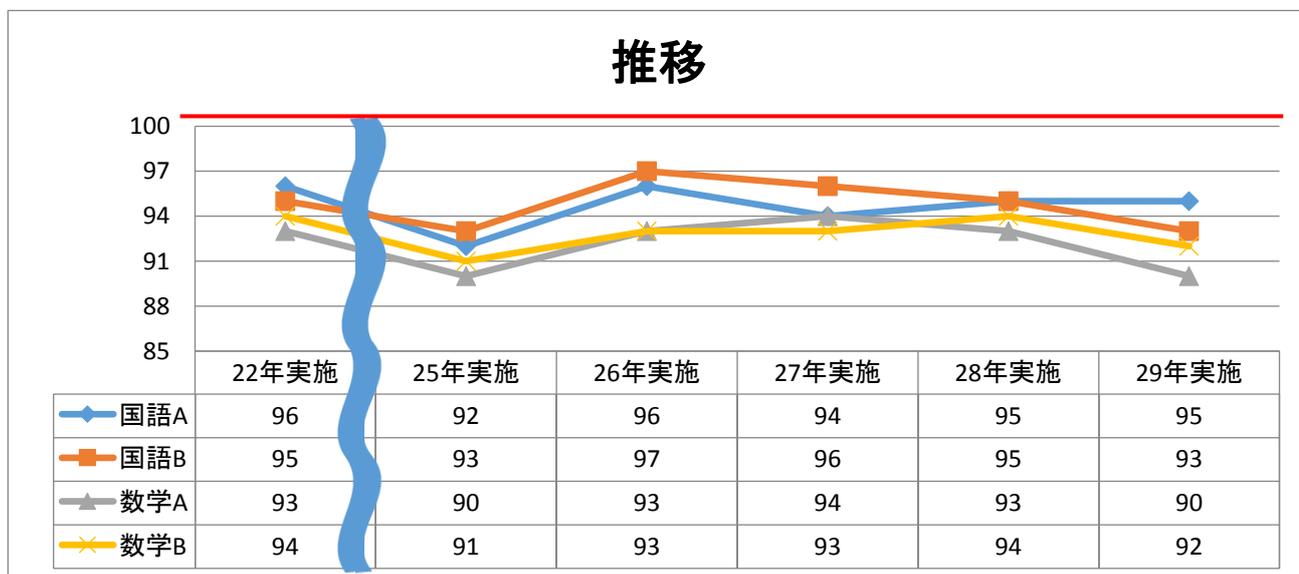
指標(H29.4.18)  
 国語A:96 国語B:96 数学A:94 数学B:95

### 3.指標に向けての取組

- ① 年度のまとめとして、積み残し解消に向けた取組・・・計画的な朝学習の実施(次年度の本格実施に向けて、現在試行中)
- ② 春休みの取組・・・課題の工夫(フォローアップシートの活用など)
- ③ 年度初めにおける前学年までの学習内容を補充する取組・・・基礎・基本の定着を図る朝学習の計画的・継続的な実施
- ④ その他
  - ・授業づくりにおける全職員による共通理解(稲中スタンダードの構築)
  - ⇒めあてやまとめの提示方法、単元ごとのミニテスト、根拠を明確にして自分の考えを書く活動や話し合い活動の充実
  - ・学力の基盤づくり(目標を持って学習に取り組むためのキャリア教育の充実)
  - ・習熟度別分割授業、TT授業の計画的な実施
  - ・全国学力・学習状況調査の過去問を解く取組の継続的な実施

### 4.調査結果(全国の平均正答数を100とした標準化得点)

	国語A	国語B	数学A	数学B
本校	96	95	94	95
嘉麻市	96	95	94	95
全国	100	100	100	100



## 5.各学校における分析

- 数学科A問題における課題:「数と式」の四則計算、「等式の変形」「扇形の弧の長さ」「円柱の体積」「関数」「確率」「資料の活用」
- 数学科B問題における課題:「数と式」「記述式」
- 国語科B問題における課題:「話すこと、聞くこと」「伝統的な言語文化」「問題形式」

## 6.各学校における今後の取組

- 個別指導やグループ別指導の時間を設定する等、個に応じた指導を工夫する。
- 学習過程の一部において、根拠を明確にした自分の考えを書く活動や話し合う活動を確保する。
- 毎時間、振り返りを書かせ、それを基に説明する時間を確保する。
- 帯時間や家庭学習において「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」「全国学力・学習状況調査」等の問題から選択して提示する。
- 教科の宿題以外に自学ノートを毎日提出させる。
- 習熟度別に個別化された課題を週末課題にし、120分以上取り組ませる。また、月曜日の提出率を95%以上にする。
- 学年の実態に応じてPDCAサイクルをたて、定期テスト・実力テストごとに学年、教科で検証し、共有化していく。

## 7.嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- 嘉麻市学力向上推進プランに基づく学力向上検証改善委員会を開催し、有機的に機能させる。そのために、学力向上プランの実効性を高めるための指導助言を実施する。また、短期検証改善サイクルの実施状況を把握し、好循環に向かうよう適時性のある指導を継続する。
- 基礎基本の徹底を図るための環境を整備する。そのために、形成的評価を強化する。また、評価後の習熟度別指導を充実させるよう指導する。
- 嘉麻市学力向上プランに設定した「家庭学習」を推進する。そのために、「家庭学習のすすめ」を活用した指導を徹底させるとともに、「家庭学習のすすめ」を児童・生徒の全家庭に配布し、家庭への啓発を行う。また、個の学習課題に応じるため、週末課題の個別化を推進する。